

7. 本時のねらい ( 1 / 9 ) 「好きな学級遊び」アンケートの結果を表にまとめる活動を通して、落ちや重なりがなく、正確に集計するためには、「正」の字を用いるとよいことが分かる。

## 8. 本時の展開

過程	ねらい	学 習 活 動	教師の支援	評価
つかむ	<p>加法・減法の計算が確実にできる。</p> <p>資料を見て、内容を理解することができる。</p> <p>資料を表やグラフに表すとよみ取りやすいことに気づく。</p> <p>今までの学習・生活体験から、どのように表にまとめるとよいか見通しを立てることができる。</p>	<p>1. 百マス計算をする。(加法・減法各 50 問ずつ)</p> <p>2. 3組のアンケート結果を見て、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドッチボール」を好きな人が多い。</li> <li>・「ポコペン」を好きな人が1人しかいない。</li> </ul> <p>3. 表やグラフに表すと見やすいことに気づく。</p> <p>4. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">アンケートの結果を表に正しく整理しよう。</div> <p>5. 表の項目を埋める。</p> <p>6. 自分なりに表にまとめる。</p> <p>イ) 「正」の字を用いて集計し、整理する。</p> <p>ロ) 「 」などを用いて集計し、整理する。</p> <p>ハ) 同じ種類のもを集計し、整理する。</p> <p>7. 全体で、意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ一つに印をしてから、数えたから正しく整理できた。</li> <li>・を残して数えたから、正しく整理できた。</li> <li>・「正」の字で残すと、5 ずつの固まりで数えやすく正しく整理できた。</li> <li>・同じ種類だけを数えた。</li> </ul> <p>8. 本時の学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「正」の字を使って整理すると、正しく整理することができる。</div> <p>9. 「正」の字を用いて、2組のアンケート結果を集計してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算が苦手な子には、問題量を減らすよう支援するようにする。</li> <li>・事前に行った3組の「好きな学級遊び」アンケートの結果を提示し、児童の関心を高めるようにする。</li> <li>・前学年での学習を想起させ、「表」「グラフ」という言葉を押さえるようにする。</li> <li>・表の枠と遊びの名前を記入したプリントを用意し、残りの項目を、児童の発言によって埋められるようにする。</li> <li>・どのように集計するかという過程が重要であることを押さえ、その過程を文字や絵で描き残すようにする。</li> <li>・正確に集計するためのヒミツとして、意見を板書する。</li> <li>・児童達の言葉でまとめるようにする。</li> <li>・「正」という文字を使うと正確に集計することができることを実感させるために2組のアンケート結果を表にまとめる。(すべての項目が記入済みのプリントを用意する。)</li> </ul>	<p>落ちや重なりがなく分類整理し、進んで表や棒グラフに表そうとする。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>落ちや重なりがなく、正確に集計する方法を考える。(数学的な考え方)</p> <p>資料を分類整理して表に表すことができる。</p> <p>(表現・処理)</p> <p>「正」の字を用いると、落ちや重なりがなく、正確に集計する事ができることを理解する。(知識・理解)</p>
活動する	<p>落ちや重なりがないようにどのように集計し、表にまとめるかを考えることができる。</p>			
深める	<p>自分の意見と仲間の意見を比較しながら、全体で交流することができる。</p>			
まとめる	<p>「正」の字を用いると、落ちや重なりがなく、正確に集計しやすいことが理解できる。</p> <p>「正」の字を用いて集計することができる。</p>			